

防災気象情報の集め方

台風や低気圧による大雨などの風水害から身を守るためには、被害が発生する前に早めの避難行動を行うことが最も効果的です。

そのためには、日頃から自宅や学校、会社などから近い避難場所や避難所を確認しておくことが重要です。また、備蓄食料や備蓄飲料を用意するといった、一人一人の防災に対する意識を高めておくことも重要です。

さらに、悪天候が予想される際は、気象情報を随時確認しておく必要があります。気象情報については、主にテレビやラジオで情報収集している人が多いと思います。地上テレビ放送のデジタル化に伴い、大きな被害が予想される災害に関する情報は、文字情報としても常にテレビに表示されるようになっていきます。

町では、これらの情報に併せて、北海道や釧路地方気象台

の担当者から直接情報を得るなどして、

早めに災害に関する情報を収集し、防災行政無

【防災気象情報の収集方法】

- ▶ テレビ
- ▶ ラジオ
- ▶ 防災行政無線
- ▶ IP告知情報端末
- ▶ 携帯電話
- ▶ 気象庁などのウェブサイト

線やIP告知情報端末などにより、皆さんに情報提供しています。また、緊急時には、携帯電話に送信する緊急速報メールも導入しており、避難準備情報や避難勧告、避難指示を発令するといった際に、より多くの人に円滑に情報が行き届くような準備を行っています。

悪天候が予想される際に、天気予報やニュースで「大雨（台風）」に関する情報を出して警戒を呼びかけています」という言葉が流れたら、その後の気象情報に注意してください。また、可能であれば、気象庁などの『防災情報』のウェブサイトで、最新の気象情報入手するように心掛けてください。

● 問い合わせ／危機対策係 ☎ 223・224

水難事故や水害時に威力を発揮！
救命ボートを導入！

【写真左】
救命ボート
操船訓練



【写真右】
潜水訓練

厚岸消防署では、水難事故や水害時に対応できるよう、救命ボートを導入しました。これまで、水難事故が発生した場合は厚岸漁業協同組合などに船舶の出動を要請し、また、河川の氾濫や高潮などからの避難困難者の救出には、教育委員会のボートなどを借りて活動している状況でした。

救命ボートの導入により、厚岸湾や厚岸湖、河川などでの水難事故者の救助、捜索および水害時の避難困難者の救助活動が迅速に行えるようになりました。

厚岸消防署では、平成5年から潜水隊員の養成および潜水資器材の整備を進め、平成9年4月から水難救助体制を確立し、現在は13人の潜水土で水難事故や水害時に対応しています。



【問い合わせ】

厚岸消防署 予防広報係
厚岸町松葉4丁目1番地
☎52-5111

平成27年各種出動件数

【平成27年5月31日現在】

・火災発生件数	1件
・救急出動	153件
・救助出動	3件
・ドクターヘリ出動	6件

